

座学と演習で学ぶカイゼン活動セミナー アドバンス編

第4回 IoT・スマートものづくりスクール

作業レベルでの改善の目を養い、改善の手順を体得 ～改善活動を実践できる人財の育成～

■日時： 2019年7月17日(水) 9時30分～17時 (受付9時15分～)

■場所： 大阪工業大学 大宮キャンパス 9号館2階 セミナールーム

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

(JR大阪駅より 大阪シティバス 34系統 守口車庫前行き乗車 中宮バス停下車)

【主催】 神戸市、(公財)新産業創造研究機構

■対象： 「座学と演習(模擬体験)で学ぶカイゼン活動セミナー」受講済の方

※2018年7月4日または2019年6月19日開催の上記セミナー受講者(又は相当の知識をお持ちの方)を対象とした、アドバンス版の講習となります。

■参加費： 無料

■定員： 20名

■開催の狙い

6月19日開催の「座学と演習(模擬体験)で学ぶカイゼン活動セミナー」のアドバンス編として、参加者が自社に戻って“作業改善”を実践できる能力を育成します。具体的には、作業改善、治工具改善、動作改善を模擬生産ラインでの演習を通じて、座学、模擬演習での学習内容の理解を深め、実践力を修得することができます。

■本コースで修得できる実践力

- ① 実際の現場におけるムダを見つける
- ② E C R Sの原則や動作経済の原則に基づいた改善案の提案
- ③ チームでの改善活動の進め方

■講師：大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授 皆川 健多郎 氏

【略歴】1998年大阪工業大学大学院博士後期課程単位修得、同大学工学部経営工学科助手・講師、准教授などを経て、現職。専攻は、経済性工学、IE。博士(工学)。

【公職】(公社)日本経営工学会 理事、日本設備管理学会 理事、(公財)関西生産性本部 理事、関西IE協会 運営委員、IEレビュー誌 編集委員等多数を務める。

お申込みは、NIROホームページ <http://www.niro.or.jp/> から
申込み締め切り：7月10日(水)

■カリキュラム詳細

1. 改善活動の必要性と進め方

【座学】

- (1)現状分析 ～現場の捉え方～ (ムダの概念、タイムスタディ)
- (2)作業改善 ～作業改善の進め方 (ECRSの原則) ～

2. 生産1 (現状の確認)

【演習】

- (1)役割分担の決定
- (2)作業習得の実施
- (3)「生産1」の準備
- (4)「生産1」の実施
- (5)「生産1」の振り返り

3. 生産2 (改善案の検討と効果の確認)

【演習】

- (1)「生産1」の問題点の抽出
- (2)改善案の検討と実施
- (3)「生産2」の準備
- (4)「生産2」の実施
- (5)「生産2」の振り返り

4. 生産3 (治工具、荷姿の改善)

【演習】

- (1)「生産2」の問題点の抽出
- (2)改善案の検討と実施
- (3)「生産3」の準備
- (4)「生産3」の実施
- (5)「生産3」の振り返り

5. 研修のまとめと振り返り

- (1)最終成果の確認
- (2)検討課題の整理とさらなる改善活動の進め方
- (3)総合質疑応答